

騒音作業チェックリスト

区分	チェックポイント	良否	改善事項
環境 管理	<p>設備・環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 強烈な騒音を発する屋内作業場では、隔壁を設けるなど、必要な措置を講じているか。 ・ エアバルブなどの排気口に、サイレンサーを取り付けているか。 ・ 金属製受け箱にゴム板を張りつけ、落下音を軽減させているか。 ・ 振動する機械と床面の間に、防振材を敷いているか。 ・ 騒音源を適切な遮音材で囲んでいるか。 ・ 騒音を発する事務用機器を5台以上、集中して同時に使用するときは、遮音及び吸音機能を有する作業室を設けているか。 		
	<p>環境測定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 著しい騒音を発する屋内作業については、6ヶ月以内ごとに1回、及び施設等を変更した場合、定期的に騒音レベルの測定を行っているか。 ・ 測定の結果を3年間保存しているか。 		
	<p>点検</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エアバルブ、排気装置など、騒音を発する機械設備の日常点検を行っているか。 ・ 点検で異常を認めたときは直ちに補修しているか。 		
作業 管理	<p>資格等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 強烈な騒音を伴う作業場の作業者に対し、騒音による身体への影響について、十分な教育を行っているか。 		
	<p>作業方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遮音室などのドアを開放状態にして作業をしてはいないか。 ・ 騒音の高い職場（等価騒音レベル85デシベル以上）にいる作業者は耳栓や耳覆いを着用しているか。 ・ 耳栓は清潔か。作業者の数だけ備えているか。 ・ 作業中、排気装置のファンが汚れていたり、破損していて、騒音を発してはいないか。 ・ 作業中、ベルトカバーやふたの固定ネジが緩んで、騒音が発生してはいないか。 ・ 作業中、機械設備の据えつけが悪く、共振などによる振動音が発生してはいないか。 ・ 作業中、ギア、軸受けなどの磨耗、油切れによる異常音は発生してはいないか。 		
	<p>職場巡視</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職場巡視者は決めているか。 ・ 巡視記録は保存しているか。 ・ 前回の巡視で指摘された事項を処理しているか。 		
健康管理	<p>健康診断</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雇入れ時、配置替え時の健診を実施しているか。 ・ 6ヶ月以内ごとに1回、定期的に聴力関係の健診を実施しているか。 ・ 健診は法定の項目によって実施しているか。 ・ 健診結果を5年間保存しているか。 		

参照 騒音障害防止のためのガイドライン しおり平成16年版136頁